



東広島市では橋の修繕計画を視察

●約50年経過する橋も
いるまがわ大橋は、開通後9年と新しいものの、広瀬橋は24年、本富士見橋は開通後49年もの月日が経過

高度経済成長期に次々と建設された橋は、その多くが寿命とされる対応年数を迎えるようとしています。市内には216の橋があり、そのうち長さ15m以上の橋が13あります。

狭山市は、入間川で東西に分かれ、上流から「新豊水橋」「豊水橋」「広瀬橋」「本富士見橋」「新富士見橋」「昭代橋」「狭山大橋」「いるまがわ大橋」が架かっています。これらの橋は、市民生活に不可欠であると考えます。

狭山市の安全な将来を築くために

視察先:広島県東広島市など 建設環境委員会



いるまがわ大橋の現状を視察

●市内の橋も視察
海外での被害状況や、事故後に修復した場合と、崩落を予防しながら橋の維持管理に努めた場合とでの、必要経費に大きな差が生じることを認識し、狭山市で重要とされる橋の保全について、視察後に現地を確認する所管事務調査を実施しています。

建設環境委員会では、橋の老朽化による事故を未然に防ぐため、狭山市より数多くの橋を有し、いち早く橋梁長寿命化修繕計画の策定と推進に乗り出した東広島市で、視察研修を実施しました。



壁で仕切られた蒲郡市の総合窓口

●次に席を立つ時は帰る時
蒲郡市のITを活用した新しいスタイルの窓口とは、住所異動などを届け出るお客様の負担を最大限抑えることです。具体的には、お客様の本人確認をして、住所異動の届出書や関連する申請書に住所などを印字し、サインだけで手続きを済ませるものです。

目標は「お客様が一度窓口に着いたら、次に立つときは帰るとき」です。マンパワーだけに頼らずシステムにも

ITを活用した「新しいスタイルの総合窓口」

視察先:愛知県蒲郡市など 総務経済委員会

●総合窓口導入の経緯
蒲郡市では、総合窓口の開設について19年1月に職員提案が出され、その後、プロジェクトチームを編成し検討、窓口利用者にアンケートも実施しています。レイアウト変更などの環境整備を経て22年7月に開設しています。

●導入前の手続き
子どもが生まれたら、市民課で出生届、児童課で子ども手当請求、保険年金課でも子ども医療費受給者証など、複数の窓口を移動する必要がありました。

●導入後の手続き
出生、死亡、転入など住所異動に伴う手続きは、約8割が市民課のみで完了に。

●狭山市は1月から開始
視察で得たものを生かし、皆さんが笑顔になる窓口サービスを目指します。

判断させ、窓口対応がスムーズにできる、市民にも職員にも優しい窓口です。

狭山市の明るい未来のために

先進都市を視察

市議会では、必要に応じ県外行政視察を実施しています。今回は、常任委員会と議会運営委員会の視察内容の一部をお知らせします。



発災時の対応指針を視察

●行政のバックアップ
仙台市では、当時の検証

●災害時に議会がすべきこと
東日本大震災が発生したとき、市議会では被災者の受け入れを市長に提言し、約100世帯を受け入れることができました。

市では現在、震災の教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しが進んでいます。大災害時に、私たち市議会がどのように行動し、何をすべきかを再度検証していくことが緊急の課題です。

議会運営委員会では、「災害時における市議会対応指針」の年度内の作成と、「子ども議会」の26年度の開催を目指しています。

災害時も行動できる議会を目指して

視察先:宮城県仙台市など 議会運営委員会

●市民の生命や財産を守るため
災害に強いと言われる狭山市ですが、視察先を参考に市民の生命、財産を守るべく、防災、減災体制の強化を目指して活動を行っています。

また、陸前高田市では震災当時の検証と復興に向けて寄せられる多くの市民の意見をとりまとめる様子を伺いました。



いまだに残る震災の爪痕



成果は福祉の向上に!

急速に高齢化が進む中、「高齢者単身世帯の増加に伴う孤独死の懸念」や「要介護高齢者の増加に伴う介護の担い手不足」が課題としてあるものの、現場の体制作りが追いついていないのが現状です。

文教厚生委員会では、北海道白老町の「携帯電話を活用した独居老人の見守り」を視察調査しました。

●歩数計で安否確認
白老町では、民間企業と共同で、携帯電話を使った高齢者向けの生活支援サービスを行っています。

一人暮らし向けのサービスでは、携帯電話に内蔵された歩数計のデータを基に

携帯電話を活用した独居老人の見守り

視察先:北海道白老町など 文教厚生委員会

●視察の成果を福祉の向上に
狭山市の高齢化率は25%を超え、4人に1人が65歳以上になっています。今後の高齢化率の進行を見据え、先進事例や市民の皆さんの声を大切にして市民福祉の向上に努めていきます。

した「安否確認サービス」があります。また、短縮ボタンで、①近隣スーパーから宅配で買える物ができる「買い物宅配サービス」。②支援員との生活、健康相談や各種依頼の受付など「ボランティア」との相談サービス。③119番通報ができる「緊急通報サービス」があります。さらに、携帯電話の位置情報機能を活用して、所有者の現在位置を通知でき、外出先での緊急時など、非常に効果を期待できるものとのことでした。



基本機能を活用